

能登半島 地震救援 カンパ

1月5日(金)、大手門パルズにおいて、「2024連合山形新春旗びらき」の会場で、能登半島地震救援カンパを行いました。

カンパ金は、

¥23,201

集まりました。

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。引き続き、一刻も早い復旧・復興に向けて、連合山形は最大限の取り組みを行っていきます!!

2024年 新年のご挨拶



日本労働組合総連合会

会長 芳野 友子

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

1月1日16時10分ごろ、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の大地震が発生し、日本海沿岸に広く津波が押し寄せ、多数の家屋の倒壊、土砂崩れ、インフラの寸断、さらには大規模な火災も発生するなど、各地で甚大な被害が生じています。一連の地震災害によって亡くなられた方々に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、負傷された皆様、住まいを失った皆様に心からお見舞い申し上げ、あわせて、未だ安否不明の方々の一刻も早い救出を切に願います。

さて、多くの方々の支えにより4年あまり続いたコロナ禍を経て、5類感染症に移行して初めての新年を迎えました。その一方で、物価高による生活苦を感じる方々が大半おられます。持続的な賃上げが可能となるよう経済社会のステージ転換を図るため、サプライチェーンにおける労務費を含む価格転嫁の実現を強く訴えて参ります。

また、世界を見ると「平和なくして労働運動なし」との信念が今なお脅かされる脆さもあることを痛感しています。同じ空の下、戦火に不安を抱えながら命をつないでいる仲間の安全を祈り、改めてその想いを強くしたいと思えます。

ジェンダー平等や社会的対話の促進は、あらゆる連合運動の基盤となる取り組みです。これまでの取り組みを踏まえながら、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」に加え、「はたらくのそばで、ともに歩む」のキャッチコピーとともに、皆さまのご期待に沿えるよう、スピード感を持ち、ジブンゴトとして課題に取り組みます。

本年も皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。

適正な価格転嫁促進で、「5%以上」の賃上げ実現、 地域を元気にする2024春季生活闘争をたたかおう



連合山形会長 船山 整

2024新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

日頃から、連合運動にかかる様々な取り組みに結集いただいている、各構成組織、地域協議会の仲間の皆さんに心より感謝申し上げます。

1月1日に石川県能登地方を震源とする大きな地震が発生し、甚大な被害に見舞われています。200人を超える方々が亡くなられ、亡くなられた方に哀悼の意を表しお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべての方々に、心よりお見舞い申し上げます。いまだ、水道電気などライフラインが復旧しない、食料などの支援物資が届かないなど、被災地は深刻な状況が続いています。連合山形として、連合本部の対応も踏まえ、可能な限り、被災地への支援活動に取り組んでいきたいと考えています。

2024春季生活闘争が、本格的にスタートします。2023春季生活闘争では、「物価上昇を上回る賃上げ」、「底上げ」「底支え」「格差是正」、「人への投資拡大」などをキーワードに、「5%程度」の賃上げを目標に掲げ取り組み、連合全体で3.58%の賃上げという成果を上げることができました。

しかし、実質賃金は、2023年11月まで、20か月連続で前年比マイナスという、賃上げが物価上昇に追いついていない状況が続いています。昨年3月24日に、国、県の行政機関、各経営者団体、連合山形、計11の機関・団体による「価格転嫁の円滑な促進により地域経済の好循環を生み出す共同宣言」を締結しました。2024春季生活闘争では、その実効性を上げるため、公労使共通の認識に立ち、価格転嫁の促進により賃上げ環境を整備し、連合本部が掲げた「5%以上」の賃上げを実現することが、大きな課題です。働く仲間の生活を守り、地域を元気にする春季生活闘争にするため、連合山形に結集するすべての組合が要求書を提出し、交渉によって、賃上げを勝ち取っていきましょう。

さらに連合が取り組む課題は、働き方改革の実現、2024年問題への対応、ジェンダー平等の実現、組織の強化拡大、人材育成、労働相談等への対応、など、幅広い分野にわたっています。連合運動の意義や必要性を地域住民の皆さんに広くアピールし、存在感を示しながら、すべての働く仲間へ寄り添った運動を展開していきたいと考えています。

政治的な取り組みとして、2023年は統一自治体選挙、中間自治体選挙等をたたかい、大きな成果を上げることができました。2024年は、解散総選挙が想定されます。さらには、2025年1月の県知事選挙、や同年7月の参議院選挙も視野に入れていかなければなりません。金権まみれの自民党政治に鉄槌を下し、国民から信頼され、働くもの、弱い立場の人の声が届く、クリーンな政治に変えていかなければなりません。

労働組合運動の基本は、直接対話や交流を通じて、絆・団結を強め、力を結集していくことです。誰もが安心して暮らせる社会づくりにむけ、働く者に寄り添う「いつもそばにいる存在」としての連合運動を強化していきましょう。

2024年も皆様方の連合山形運動へのさらなる結集をお願いいたします。力を合わせて、ともに頑張りましょう。

連合山形「2024新春旗びらき」

1月5日(金)、大手門パルズにおいて、連合山形・連合山形地域協議会合同による「2024新春旗びらき」を開催し、加盟労働組合をはじめ労働者福祉事業団体、経済・経営団体、行政、政党、国会議員、自治体議員の皆様と新年を祝い交流を深めました。

今年は4年ぶりの通常開催となり、約250人が参加しました。式典の冒頭、1月1日に発災した「令和6年能登半島地震」で亡くなられた方々に哀悼の意を込めて「黙とう」を捧げた後、岡田洋輔連合山形地域協議会議長のあいさつで開会しました。

主催者代表のあいさつで船山会長は、「令和6年能登半島地震」の内容にふれられ、労働組合の最大の取り組みである2024春季生活闘争への意気込みを述べた後、「今年も、すべての働く者の幸せ実現、多様性が尊重され、格差のない、平和な社会づくりに向け取り組みを進めていきたい。構成組織、地域協議会、関係団体等と連携を深めながら、連合山形のさらなる団結強化と運動の前進のため、その先頭に立ち精一杯取り組んでいく」と年頭の抱負を述べました。

その後、来賓を代表し、吉村美栄子山形県知事、原田和広立憲民主党山形県第1区総支部長、舟山康江国民民主党山形県総支部連合会会長・参議院議員、芳賀道也参議院議員、設楽正山形県労働者福祉協議会専務理事の5名から祝辞をいただき、来賓の方々からの鏡びらきの後、小林学山形労働局長の発声による乾杯で新年を祝いました。

祝宴の後、出利葉康隆連合山形副会長の閉会のあいさつと、船山会長のガンパロー三唱で、連合運動のさらなる前進と団結を誓い合いました。



連合山形船山整会長



吉村美栄子山形県知事



原田和広立憲民主党山形県第1区総支部長



舟山康江参議院議員



芳賀道也参議院議員



設楽正山形県労働福祉協議会専務理事



小林学山形労働局長



出利葉康隆連合山形副会長



岡田洋輔山形地域協議会議長



連合山形 かべ新聞

No.7
新年号

発行日 2024.1.31
発行者 船山 整
編集者 坂井美由希
石川 正樹

F990-0044
山形市木の美町12-37 大手門パルズ内
☎ 023-625-0555
FAX 023-624-7661
✉ info@yamagata.jtuc-rengo.jp

「ほろやん」アプリ
いつでもどこでもスマホでチェック!
ろうきんアプリ

詳しくはこちらから



※本アプリは無料でご利用いただけますが、アプリのダウンロードや利用時にかかる通信料はお客さまのご負担となります。

東北労働金庫
https://www.tohoku-rokin.or.jp

マイカー共済

自動車総合共済
最大6回で
掛金の目安がすぐわかる!



見積りはこちらから

ご不明な点はお気軽にお近くの店舗まで

こみん共済 山形推進本部